



ふれあいネットワーク

やまとおりのやま 第111号

社協だより

平成30年12月15日号

発行 社会福祉法人
大和郡山市社会福祉協議会
大和郡山市植槻町3番8号
TEL (0743)53-6531
FAX (0743)55-0986
<http://ykshakyo.or.jp/>



健康で、明るく、いきいきと!



老人福祉センター「ゆたんぼ」

矢田山町東長寿会のお二人

本年度も9月11日～17日の期間、大和郡山市高友会連合会と大和郡山市ボランティア連絡協議会の協力をいただき「高年者(ゆたんぼ)まつり」を開催しました。

期間中、絵画・写真・書道・手芸などの作品が展示され、11日の初日は囲碁・将棋大会を開催し熱戦が繰り広げられました。12日は民踊・コーラス・詩吟・民謡・大正琴・カラオケなどの演芸大会に多数参加され、日頃の成果を披露していただきました。

また、昭和保育園と郡山西保育園の園児との交流もあり、楽しい一時を過ごすことができました。老人福祉センターでは、健康づくりと体力維持の向上を図ることを目的として、民踊・社交ダンス・民謡・新舞踊・詩吟の各教室を開催していますので興味のある方は是非一度見に来てください。(参加費無料)



災害ボランティアセンター 運営マニュアルができました

平成30年は大阪北部での地震・西日本各地を襲った7月の豪雨災害・そして連続して上陸した大型台風など、立て続けに日本各地で自然災害が発生し、大きな被害をもたらしました。あらためて被災地の方々には心よりお見舞い申し上げます。

近年では今まで災害が少ないと言われてきた地域でまさに想定外な災害が起こっており、私たちの大和郡山市においても決して人ごとではありません。

そこでこの度、社会福祉協議会としての災害に対する備えとして「災害ボランティアセンター運営マニュアル」を策定しましたので紹介させていただきます。



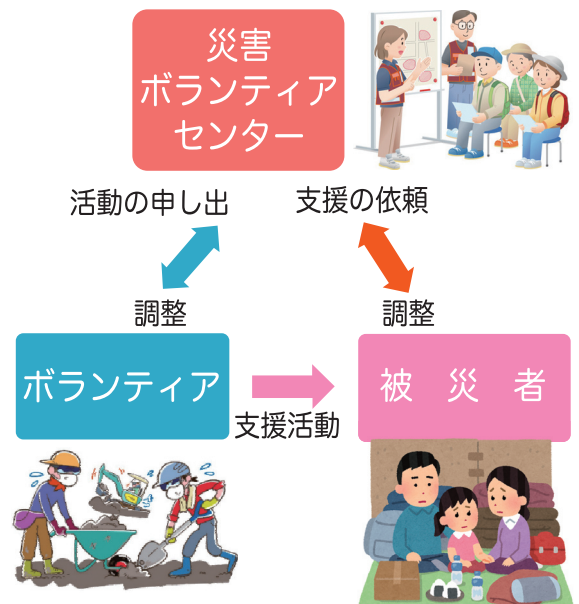
災害ボランティアセンターって？

災害が起こる度、被災された地域で「ボランティア」の方々が活躍されているという話はよくテレビなどで報道されていますよね。

でも現地に知り合いも土地勘もないボランティアの方たちはどのようにして支援を求められている被災者のお宅まで行って活動されているのでしょうか？

実はボランティア活動の時間や場所、必要な人数など調整し「被災者」と「ボランティア」のつなぎ役をしているのが「災害ボランティアセンター」なのです。

そしてその運営は「各市町村の社会福祉協議会（社協）」が主となって担うことになっています。



なぜマニュアルが必要なのです？

今回策定したマニュアルは、災害時における社協職員の初動体制から、ボランティアセンターの立ち上げ、運営、閉所までの手順や役割を定めたものです。

災害発生時の混乱の中で、社協職員がこのマニュアルを基に市内外の様々な団体や関係機関と連携しながら動き、全国から支援に来てくださるボランティアの方々をスムーズに受け入れ、支援が必要な地域に派遣できるようにするのが目的です。

マニュアルの内容は？

マニュアルは社会福祉協議会ホームページに掲載しています。

大和郡山市社会福祉協議会



ホームページアドレス
<http://ykshakyo.or.jp>



ふれあいいきいきサロンシリーズ(1)

泉原ほのぼのサロンの紹介

泉原ほのぼのサロンの紹介を致します。設立はH15年4月で、当初は年2回の開催でしたが、徐々に回数を増やしていき、H23年9月から毎月実施しています。その結果今は130数回を数えるまでになりました。

内容としては、奇数月は喫茶をし、皆でおしゃべりをして楽しい一時を過ごしています。偶数月はサロンで各種催しをしています。その例を挙げますと“音楽療法、映画鑑賞、頭の体操、落語、手品、ゲーム、歌声喫茶、演奏会やコンサート、折り紙や小物作り、花見、講演会、(市)薬剤師会による血管年齢等の測定、また某社による体の測定(体脂肪量・率、筋肉量・率、基礎代謝量、体の歪みやバランス測定)”等いろいろしています。

参加者数は1回につき20人～50人位です。年間延べ参加者数は300人超、男女比率は男性が3割弱です。現在サロンスタッフは11名(男性3名、女性8名)の構成になっています。参加者の年齢層は70代が圧倒的に多く、80、90代となっています。スタッフの年齢層は60半ば～70半ばです。課題は参加者やスタッフにしても子育てが終わった50代～60代の人が入って来ないということです。



歌声喫茶



花見



ホーリング



体の測定

赤い羽根共同募金

たくさんのご協力
ありがとうございます



今年も10月1日から赤い羽根共同募金が始まりました。

市内の駅前・スーパー等店舗前で街頭募金活動を行い、多くの皆さまからご協力いただきました。皆さまから寄せられました募金は、市内・県内の地域福祉に役立てられます。

なお、募金活動は来年3月号の社協だよりでご報告させていただきますので、引き続きご協力よろしくお願いいたします。

駅周辺で駐車場を運営しています



駐車場を利用していただくことにより、利用料金が**地域福祉に還元**されます。

対象駐車場は右記3カ所となります。

駐車場名	最寄り駅	入庫後24時間以内最大料金
三の丸駐車場	近鉄郡山駅	1,000円
JR郡山駅前 自家用車自動車整理場	JR郡山駅	1,000円
JR小泉駅東 自動車駐車場	JR大和小泉駅	700円

お得なプリペイドカード



駐車料金のお支払いに利用いただける、お得な3駐車場共通プリペイドカードを販売しています。

3,000円で**3,300円分**
5,000円で**5,500円分**
利用できます！

詳しくは、
施設事業課まで
お問合せください。

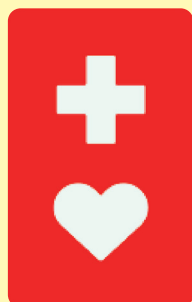


販売場所

- 三の丸駐車場管理事務所
- 社会福祉協議会施設事業課(社会福祉会館1階)
- 大和郡山市商工会(まいどホール2階)
- 大和郡山市元気城下町ぷらっと(アピタ大和郡山店2階)
- 大和郡山市元気城下町プラザ(イオンモール大和郡山2階)
- 大和郡山市観光協会(市民交流館1階)

ご存知ですか？

「ヘルプマーク」



ヘルプマークは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助を得やすくなるよう東京都が作成したマークです。赤は「ヘルプ＝普通の状態ではない」ことを発信し、ハートは相手に「ヘルプする気持ちを持っていただく」という意味を含んでいます。今では全国共通のマークとなり、平成30年9月末時点で32都道府県に導入されています。

このマークを身につけた方を見かけたときは、電車やバスでは席を譲ったり、困っているようであれば「何かお困りですか？」と声かけをお願いします。

義援金

ご協力ありがとうございました。



報告・お礼

【平成30年7月～9月】

社会福祉協議会関係施設設置の
義援金箱に寄せられた義援金

大阪北部地震 1,479円
7月豪雨災害 12,508円

お預かりした義援金は皆さまのあたたかな気持ちと共に中央共同募金会等へ送金させていただきましたことをご報告させていただきます。

募集

被災された方々を支援することを目的に義援金が募集されています。詳しくは各共同募金会のホームページでご確認ください。

- 平成30年7月豪雨災害義援金(中央共同募金会)
 - 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金(北海道共同募金会)
- 引き続き募金箱を設置しておりますので、ご協力よろしくをお願いします。

善意銀行へご寄付 ありがとうございました

奈良県中古自動車販売商工組合
理事長 服部教昭
230,061円



中古自動車
販売商工組合様

※希望者のみ掲載(敬称略)

問い合わせ
申込み先

社会福祉
法人

〒639-1005 大和郡山市植槻町3番8号

大和郡山市社会福祉協議会
社会福祉会館(福祉課) TEL 53-6531
FAX 55-0986

■老人福祉センター TEL 53-0122
■ボランティアビューロー TEL 55-7333
■総務課 TEL 53-6533
■施設事業課 TEL 53-6535